

こんにちは！アリゾナに来てとうとう3ヶ月近く経ちました。今回は留学の現実について紹介したいと思います。

留学は楽しい面と大変な面がありますが、私的にはそのどちらも自分を成長させる経験となるので、どちらもポジティブに捉えて良いことだと思います。楽しい面とは、シンプルですが異文化を肌で感じられることだと思います。ここアリゾナは、メキシコとの国境に近いのでメキシコ出身の人が多くいます。私の友達もメキシコ人で、スペイン語と英語をどちらもネイティブ並みに話せます。日本だと日本語しか話せない人しかいないので、とても面白いです。ホストマザーもメキシコ人で、メキシコのことを知ることができて楽しいです。例えば、スイカやパパイヤにタジンという香辛料をかけて食べるのが興味深いなと思いました。私的には絶対にそのまま食べた方がいいと思うのですが、彼らはタジンがないとダメって言うてました。また、学校には他の国からの留学生もいて、とても話していて楽しいです。例えば、オランダ、スペイン、イタリアなどです。その国のことを教科書で習うだけでなく、実際の「人」に会う方が、より一層楽しいし、面白いし、学びになると思います。この留学に来てなかったら、一生会うことのなかったような人たちと今友達になれているというのを感じると何とも不思議な気持ちになります。日本から飛び出すことでこんなに広い景色が見られるんだ！と感動してるし、本当に楽しいです。

留学において、英語が心配な人もたくさんいると思いますが、そんな完璧な英語でなくても通じるし、大丈夫です。勇気さえあれば何とかなります。自分の意見を言わないで大人しくしてたら自分のやりたいことはできないので、自分から声をあげるかどうか楽しく過ごせるかどうかの鍵だと思います。

私が気づいたアメリカの面白いことは、話の途中の相槌が多くないことです。日本だと人の話してる最中に確かに！とかそうだよーね！とか言うと思います。でもアメリカだと私が話終わるまで無言で話を聞いています。私はそれに慣れることができません。なんか私の話つまらないのかな？と思ってしまいます。でも聞いてないわけじゃなくて、そういう文化なのです。逆に、友達の家のコロンビア人のベビーシッターの人は、相槌をたくさん打ってくれました。その友達が言うにはスペイン語圏では相槌を打つことが文化だそうです。だから、世界って全く違う文化を持ってることもあれば似たような文化も持ってることもあるんだなと感じました。そういう共通点とか相違点とかが見つけられるのが面白いと思います。

白鷗高校 18 期生 次世代リーダー育成道場 13 期 N.M